

平成 23 年度協働事業実施に係る
提案の審査について

答 申

平成 23 年 3 月 15 日

水戸市協働推進委員会

平成 23 年度協働事業実施に係る 提案の審査について（答申）

目 次

	ページ
提案事業審査結果	
審査結果及び講評	1
各事業の概要及び委員会意見	2
選考過程・基準	7
委員名簿	8

審査結果及び講評

【 審査結果 】

本委員会における審査の結果は、次のとおりである。

推薦する事業

- 「水戸シニア I T リーダ養成」並びに「シニア初心者 I T 普及」
- 常照寺のホタル発生地の地域協働による維持管理保全
- 対人関係により心に傷を抱える子どもたちへのメンタル・フレンド派遣事業
- 千波湖環境学習会
- ノーバディーズ・パーフェクト！ 完璧な親なんていない！

推薦しない事業

- 栗崎町里山道路の整備・除草及び不法投棄物の排除
- 水戸女性史編さん事業
- いばらきの魅力 P R 事業 ～ イメージファースト脱出への道
- 宿泊型エコ農業体験教室

【 講評 】

平成 23 年度の募集に対しては、環境及び福祉分野で各 3 件、男女平等参画及び観光、農政の分野で各 1 件、合計 9 件の協働事業が提案された。このうち、前年度からの継続となる事業が 5 件あり、新規の提案事業が 4 件あった。

2 年度目となる「対人関係により心に傷を抱える子どもたちへのメンタル・フレンド派遣事業」は、DV、虐待、いじめなどが原因となって心に傷や悩みを抱えている子どものもとへ、学生を「メンタル・フレンド」として派遣するという事業である。初年度の実績とともに、ニーズの有効性、事業の将来性などの点が高い評価を受けた。新規の事業では、「ノーバディーズ・パーフェクト！完璧な親なんていない！」が、ニーズの有効性、協働の必要性などが認められ、高く評価された。

いずれの事業についても、実施にあたっては、引続き市の担当部署等と十分協議し、特に予算面についてはできる限り効率化を図り、補助金の適正な運用を心掛けていただきたい。講座や催しなどを行う事業では、受益者負担の観点からも、参加者の実費負担を検討することも必要である。

なお、協働事業提案制度で求められている事業とは、市民と行政とが共に取り組むことにより、単独で実施するよりも効果が上がることが期待される事業であるが、「協働事業」についての認識がまだまだ曖昧であるようにも見受けられた。市民が、協働についての理解や関心をさらに深めることができるよう、市には、広報や啓発に力を入れていただきたい。

提案団体と市とがパートナーとして、お互いの特性を生かしながら公益性の高い事業に取り組み、市民と行政との協働によるまちづくりが実践されていくことを期待する。

各事業の概要及び委員会意見

【継続事業】

提案事業名	「水戸シニアITリーダ養成」並びに 「シニア初心者IT普及」	推薦する (253点)
提案団体 シニアネット水戸	市の担当課 高齢福祉課	
事業の概要	<p>1. 水戸シニアITリーダ養成講座の開催 パソコンやインターネットの技術及びその教授法を学ぶ講座を開催し、修了者に対して市が修了証を発行する。</p> <p>2. シニア初心者パソコン教室の開催 県生涯学習センターや市民センターを会場として、シニア層の初心者向けパソコン教室を開催する。</p>	
委員会意見	<p>初年度の講座参加希望者数からも、市民のニーズが高いことがよくわかる事業である。提案団体のノウハウを生かし、他団体との連携などにより事業を拡げることができないか、ネットワークづくりを検討していただきたい。また、「水戸シニアITリーダ養成」の講座修了者については、シニア層へのIT普及のために、講師としてより積極的に活躍してもらうことを期待する。</p>	

提案事業名	常照寺のホタル発生地地域の地域協働による維持管理保全	推薦する (267点)
提案団体 茨城生物の会	市の担当課 公園緑地課、環境課	
事業の概要	<p>1. ホタル生息地の維持管理 現在未利用となっている常照寺周辺の市有地において、周辺自治会や浜田小学校と協力して除草作業などを行い、ホタル生息地として保全する。</p> <p>2. パンフレット作成及びホタル鑑賞会・研究発表会の開催 ホタル保全と、生息地としての維持管理の必要性について、パンフレットを作成する。また、ホタル鑑賞会や研究発表会を開催する。</p>	
委員会意見	<p>初年度の予算をスリム化した収支計画となっており、堅実な計画である。事業を進めていく中での地域との連携は感じられたが、一方で、市が協働事業の中でどのような役割を果たすのかが明確とはいえなかった。事業の効果をさらに高めることができるよう、提案団体と市の担当課とは連携を密にして取り組んでいただきたい。</p>	

提案事業名	対人関係により心に傷を抱える子どもたちへのメンタル・フレンド派遣事業	推薦する (295点)
提案団体	特定非営利活動法人ウィメンズネット「らいず」	市の担当課 子ども課
事業の概要	<p>1. 学生によるメンタル・フレンド派遣</p> <p>DVの目撃, 虐待, いじめなど, 対人関係が原因となって心に傷や悩みを抱えている子どもや, 学校で孤立しがちな児童・生徒のもとへ, 学生を「メンタルフレンド」として, 月2回派遣する。</p> <p>市の担当課は, 対象となる家庭を紹介する。メンタル・フレンド派遣を通して, 子どもの被害が深刻であることが明らかになった場合は, 家庭や学校と連携し, 解決するために対応する。また, DVや虐待, いじめの防止について啓発していく。</p> <p>(1)児童への心理的支援についての基本講座</p> <p>(2)メンタル・フレンド派遣</p>	
委員会意見	<p>初年度の成果として, 市の担当課とのスムーズな連携のもと, 提案団体の専門性が生かされ, 市民ニーズに応えた事業を展開していることが高く評価された。市には, 今後, 支援を必要としている対象者の掘り起こしに努めてほしい。</p> <p>将来的に事業を拡大していこうとする場合は, 他団体との連携も視野に入れる必要があると考えられる。</p>	

提案事業名	千波湖環境学習会	推薦する (267点)
提案団体	社団法人茨城県公害防止協会	市の担当課 環境課
事業の概要	<p>1. 千波湖親水デッキでの環境学習会開催</p> <p>水, 鳥, 昆虫, 植物, 水生生物の各分野に詳しいスタッフが, 講師として参加する。水戸市のシンボルである千波湖で環境学習会を実施することによって, 自然と環境保全の大切さや, 千波湖や桜川の水質浄化対策の現状について知ってもらう機会とする。</p>	
委員会意見	<p>参加者数やアンケートでの意見を見ると, 初年度には期待通りの成果をあげており, 高く評価できる。</p> <p>しかし, 市民が自らの問題として環境保全に積極的に関わっていくためにも, 今後は, 実費相当を負担することが適切と考える。市が実施している他の事業との公平性についても考慮しながら, 受益者負担が原則であるという方向へ意識を変えていく必要がある。</p>	

提案事業名	栗崎町里山道路の整備・除草及び不法投棄物の排除		推薦しない (202点)
提案団体	グリーンパターイ栗崎	市の担当課	道路管理課, ごみ対策課
事業の概要	<p>1. 不法投棄されているゴミの除去・処分 栗崎町内の市道に不法投棄されているゴミを, 自治会と協力して運び出し, 市が適正に処分する。</p> <p>2. 不法投棄を抑制するための看板製作 今後の不法投棄を抑制するため, 町内で募集・選考した標語の看板を製作し, 道路沿いの土地に設置する。</p> <p>3. 市民センター隣接「サクラひろば」の整地</p>		
委員会意見	<p>提案団体を中心とした地域の皆さんの熱意と行動力により モデル事業として実施した初年度の目的はほぼ達成したと考えられる。</p> <p>しかし, 不法投棄への対応は, 今後も継続して取り組んでいく必要があることから, 地域で住民を中心に行われている清掃作業などの活動に対しては, 市も積極的に支援・協力する姿勢であることをさらに周知していく必要がある。</p>		

【新規事業】

提案事業名	水戸女性史編さん事業	推薦しない (201点)
提案団体	水戸の女性史をつくる会	市の担当課 男女平等参画課
事業の概要	<p>1. 『水戸市史』をフォローアップする目的で、女性史を作成する。市民の目線を加味した水戸の女性のあゆみを掘り起こし、検討することにより、男女平等参画社会の形成につなげる。</p> <p>※平成25年3月完成予定。平成23年度については、編さんのための記事・資料原稿の収集・構成作業を行う。</p>	
委員会意見	<p>提案団体の熱意は伝わったが、事業実施における役割分担について曖昧な部分があるなど、検討すべき課題が多く残されているように感じた。また、提案の段階であっても、取り上げる人物を選ぶ基準や目次の構成など、具体的なイメージを示すことが必要である。</p> <p>今回は推薦できる基準点に届かなかったが、計画の精度を高めた再提案を期待する。</p>	

提案事業名	いばらきの魅力PR事業 ～ イメージワースト脱出への道	推薦しない (198点)
提案団体	水戸黄門愛好会	市の担当課 観光課
事業の概要	<p>1. 茨城空港への就航により結ばれた札幌市・名古屋市，北関東自動車道の開通により結ばれる前橋市と周辺都市に，水戸黄門一行に扮して表敬訪問するとともに，観光キャンペーンを実施する。</p>	
委員会意見	<p>水戸市を訪れる観光客への「おもてなし」に取り組んできた提案団体の実績は高く評価されたが，今回の提案事業は，市と協働で取り組むことによる効果が明確になっていなかった。</p> <p>従来のイメージにこだわらず，食なども含め，これまでとは違った水戸市の魅力をアピールしていく必要があるとの意見も多くあった。確実に効果を上げることができるよう，新たな切り口や取り組みでの再提案を期待したい。</p>	

提案事業名	宿泊型エコ農業体験教室	推薦しない (202点)
提案団体	特定非営利活動法人 GEN Natural Factory 玄自然工房	市の担当課 農政課, 生涯学習課
事業の概要	<p>1. 市内の耕作放棄地で農業体験及び環境活動を行う。宿泊は水戸市少年自然の家を利用する。また, 提案団体が都内にもつネットワークをいかし, 東京近郊からの参加者募集も行う。</p> <p>(1) 農業体験 (米栽培体験)</p> <p>(2) 環境活動</p>	
委員会意見	<p>耕作放棄地に着目し, これまでに市が実施している農業体験事業よりも広い対象を巻き込んだ農業体験教室を開催しようという提案は, 先見性・独創性の点で一定の評価を受けた。しかし, 事業計画に具体性が乏しいなど, 熟度が低い部分もあり, 今回は推薦できる基準点に届かなかった。</p> <p>確実な実施に向けて, 精度を高めた計画での再提案を期待する。</p>	

提案事業名	ノーバディーズ・パーフェクト! 完璧な親なんていない!	推薦する (263点)
提案団体	特定非営利活動法人 子育て支援グループ ひまわりのお家	市の担当課 保健センター
事業の概要	<p>1. 「ノーバディーズ・パーフェクト」認定ファシリタターが講師となり, 参加者が子育ての悩みや関心事についてお互いに話し合いながら, 親の自信回復や, 孤立育児の解消, 虐待の未然防止につなげていく参加型の連続講座を実施する。</p> <p>講座終了後も, 支援が必要と思われる親子については, 保健センターと連携しフォローを行う。</p>	
委員会意見	<p>子育てに悩む親は増加しているものと考えられ, 虐待等を未然に防止するためにも, その支援は緊急性が高い。年1講座の開催ということから参加者の定員が少ないこともあり, 参加者の選定については透明性・公平性を確保することが求められる。また, より多くの対象者の要望に応えることができるよう, 今後, 事業を拡大することができる体制づくりを進めてほしい。</p>	

※各事業の講評は, 協働事業提案書の受付順。

選考過程 基準

【 選考過程 】

協働事業提案書をもとに、2月23日に開催された公開プレゼンテーションにおいて、事業の概要や協働による効果、役割分担、収支計画などについて、提案団体から説明を受けた。また、提案団体及び市の担当課に対して、委員による質疑応答を行った。

その後、全体での審議において、全委員の総合得点をもとに、各提案事業について、公共性や協働の必要性などの面から、協働事業として実施すべきか否かについて審議した。また、効率性や役割分担など、事業に取り組むにあたって、提案団体と市の担当課とがさらに協議を深めるべき事項について意見した。

【 選考基準 】

提案書類と公開プレゼンテーションをもとに、8つの評価項目に沿って採点した。

各委員の持ち点を40点とし、全委員の採点を合計した総合得点を審査の基礎とした。また、今回の審査では、提案団体のスキルアップと、より質の高い事業提案を促進するため、総合得点の6割にあたる216点を推薦に値するかどうかの基準として設定した。

なお、提案団体の家族、親族、関係者である委員は、公平性を保つ観点から当該提案事業の審査は行わず、他の8名の委員による採点の平均点を加算して、得点を調整することとした。

評価項目及び評価の視点（40点満点）

評価項目	評価の視点	配点
先見性・独創性	新たな着想や創意工夫があるか	5
事業の公共性	不特定多数の利益、社会全体の利益につながるか	5
ニーズの理解	社会的課題や市民ニーズをとらえているか	5
協働の必要度	協働による相乗効果が期待できるか	5
事業の将来性	成果の活用や波及効果など将来展望が明確か	5
手段の効率性	労力や経費などの見積りが適切か	5
役割分担	自立性を尊重し、お互いの長所を生かしているか	5
実現可能性	自己資金の確保や企画内容が実現可能か	5

水戸市協働推進委員会委員名簿

氏名	所属等
委員長 金本 節子	茨城大学 人文学部教授
副委員長 奥山 真知	常磐大学 人間科学部教授
島根 徹也	水戸農業協同組合 経営企画室
白田 礼治	水戸青年会議所 監事
安島 茂雄	水戸市住みよいまちづくり推進協議会 副会長
横田 能洋	茨城NPOセンター・コモنزズ 事務局長
平沼 賢治	水戸市ボランティア連絡協議会 副会長
飛田 和郎	公募市民
加倉井 悦子	公募市民